



しまねオンライン産地ツアー

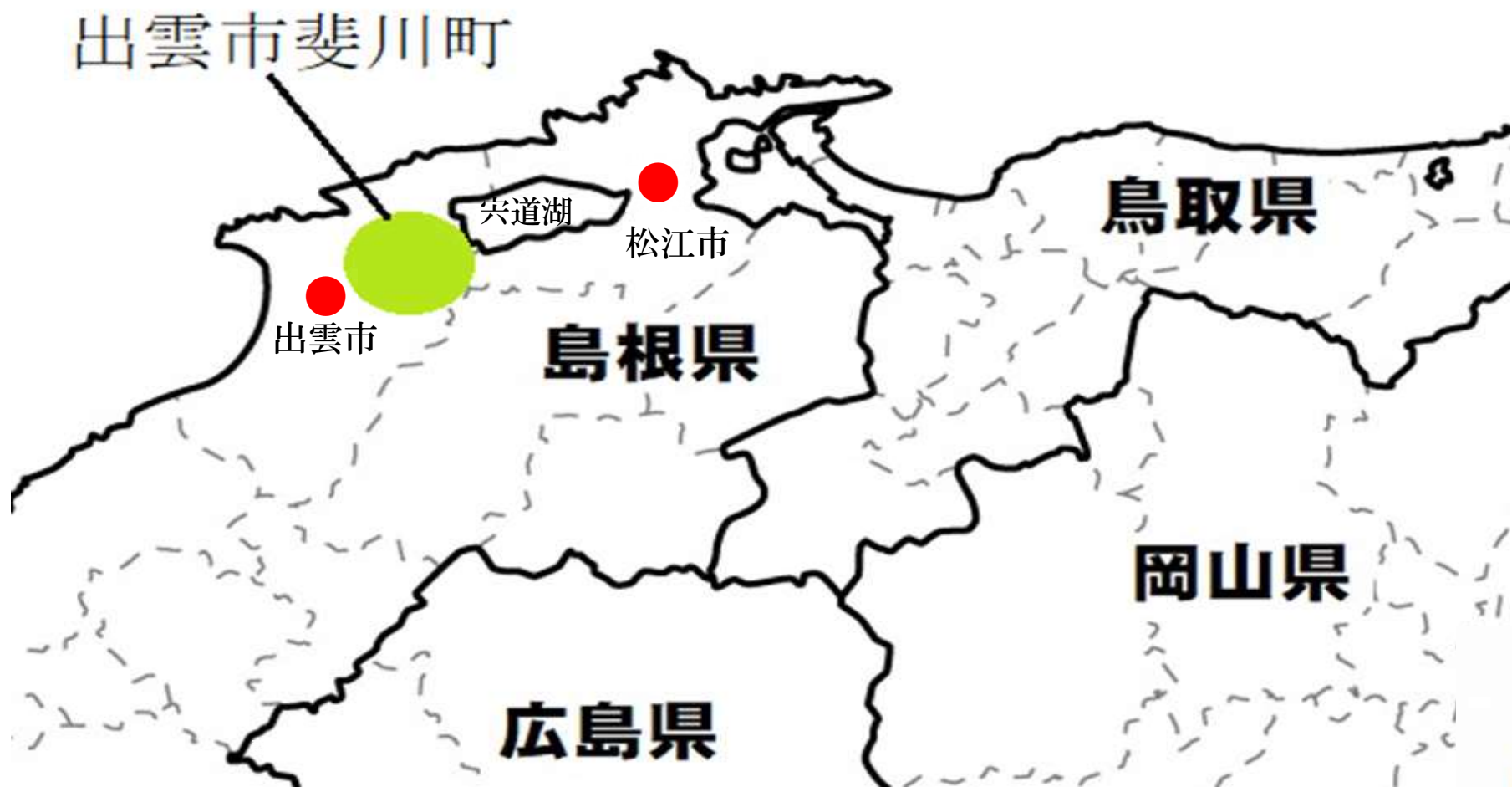
in

出雲市斐川町

ミニトマト

Ver.1104

出雲市斐川町の概要(位置図)



出雲市斐川町の概要(出雲平野の穀倉地帯)



スタジオ現在地

出雲市斐川町の概要(生活利便性がすぐれる)



町内に高速道路インターや出雲空港もあり

出雲市斐川町の概要(農村の原風景が色濃く残る)



出雲市斐川町のミニトマト(ひかわの恵み)

- 「ひかわの恵み」ブランドとして島根県で定着
- 出雲大同青果(株) を通じて安定した売り先が確立
- さらなる出荷量拡大が望まれている



出雲市斐川町のミニトマト(生産者組織)

令和2年度の販売額は約3,800万円(一部大玉トマト含む)。

J Aしまね斐川施設野菜組合員12名が産地を担っています。若い農業者もがんばっています。



年間栽培スケジュール

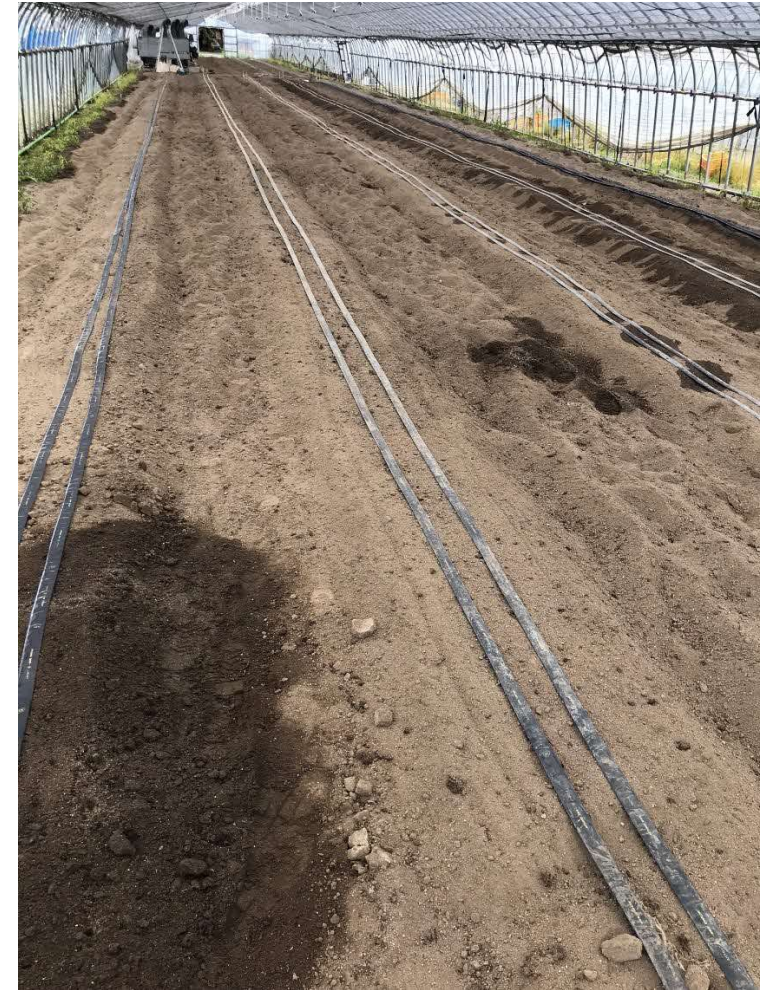
斐川町におけるミニトマト栽培の作型例

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
無加温 栽培 (10a)												
		(補完品目等)			▲ 定植							
加温 栽培 (10a)												
								▲ 定植				

新規就農者もこれに準じた作付計画を推奨



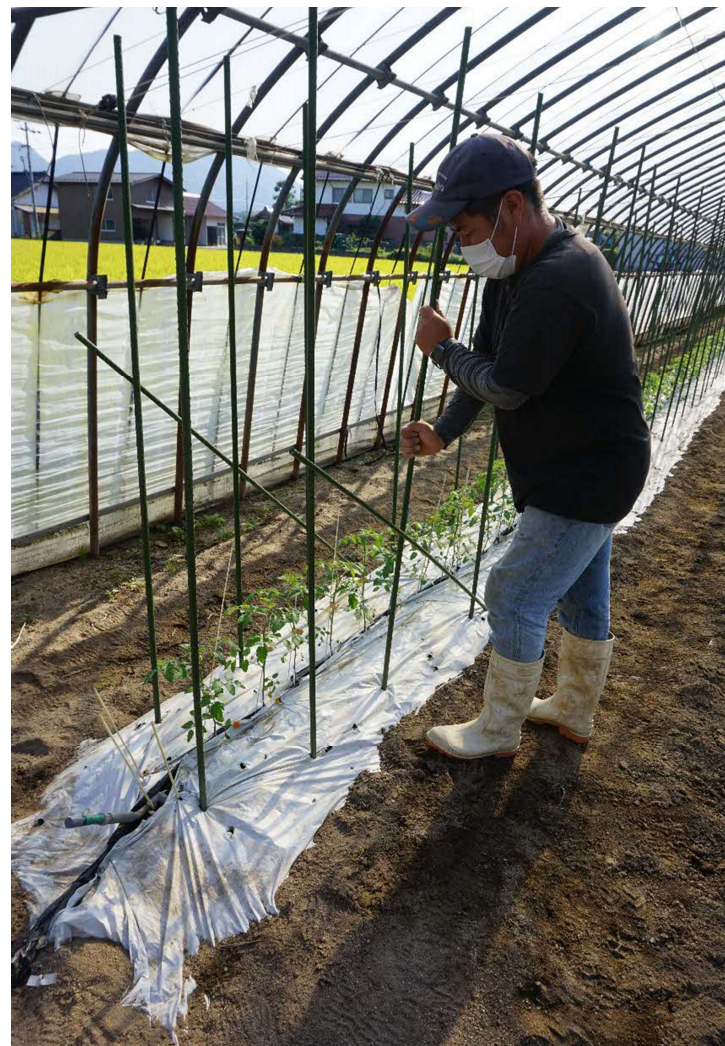
ミニトマト栽培の様子(土づくり/定植準備)



ミニトマト栽培の様子(苗の定植)



ミニトマト栽培の様子(マルチングと支柱立て)



ミニトマト栽培の様子(整枝管理)



誘引



わき芽かき

ミニトマト栽培の様子(防除作業)



その他設備機械



水耕栽培・ベッド栽培施設



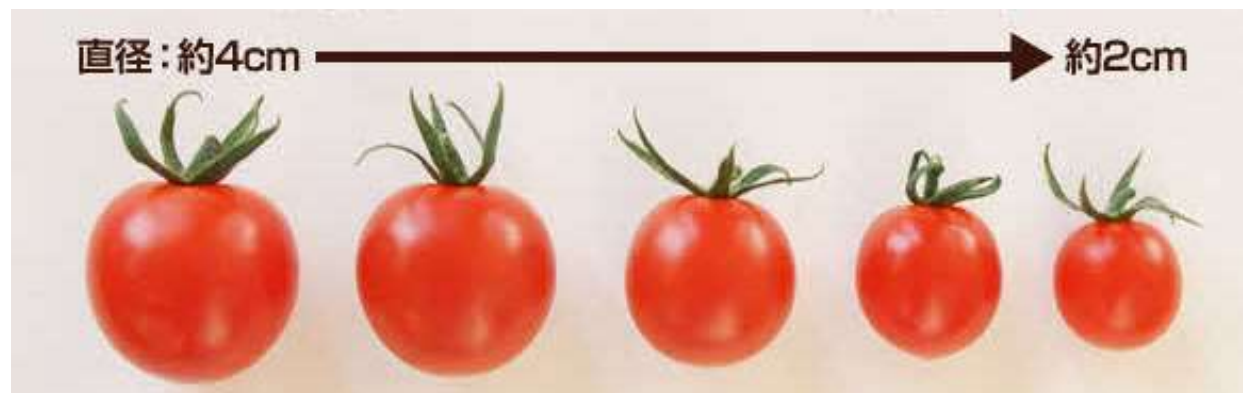
重油加温機

ミニトマト収穫期の1日(収穫)



早朝から12:00まで

ミニトマト収穫期の1日(選果)



13:00から14:30まで

ミニトマト収穫期の1日(選果・計量作業)



14:30から17:00まで

ミニトマト収穫期の1日(出荷作業)



毎週 月・水・金の17:00まで

ミニトマトの経営特徴について

【長所】

1. 長期間収穫が続くため収入が安定している。
2. 生産者組合で販売ルートが確保されている。
3. 軽量作物のため重労働が少ない。
4. 小面積で売上を確保することができる。
5. 栽培が比較的容易。

【短所】

1. 収穫・選果・パック詰め作業に時間を要す。
2. 雇用を確保しないと規模拡大が難しい。
3. ビニールハウスが必要。



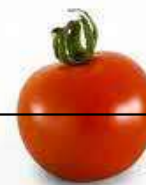
ミニトマト栽培の経営モデル(就農5年目)

- 補助金や無利子借入金を活用(令和4年度制度)
- ハウス加温/無加温の複合栽培。パート雇用が必要。

経営面積	20a	5aハウスを4棟整備
所得	327万円	売上1,044万円－経費717万円(利益率31%)
その他品目所得	30万円	冬季ハウス補完品目など
設備投資額	4,000万円	うち借入額1,480万円(ハウス・トラクターなど)
年間労働時間	3,698時間	家族労働力2人・パート雇用

* 就農5年後のモデルであり所得を保証するものではありません

* 気象条件や技術レベル、補助金動向等によりこれらの値は変わります。



就農までの流れと支援策

①産業体験×1年間

(UIターンしまね産業体験事業：12万円×12ヶ月)



②農林大学校短期養成コース×1年間

(就農準備資金：12.5万円/月×11ヶ月間)



③就農準備

(機械・施設導入助成1/3～3/4・資金融資ほか)



④農業経営スタート

(経営開始資金：12.5万円/月×3年間)

* 令和4年度の制度を適用した場合であり、事業動向により変更が生じます



まずは現地にお越し下さい

企画名	実施日	宿泊費 助成	旅費 助成	その他
① 就農相談 ミニツアー	12/3(土) と 12/4(日)	○	○	定員3名 程度
② しまね 農業体験 プログラム	随時受付	○	×	実施日は 要相談

- 1～2泊の農業体験。
- 詳細は「しまね就農支援サイト」ホームページに掲載



まずは現地にお越し下さい



体験受入先のみなさん

最後までご参加いただきありがとうございました!!

1. この後もZoomで質問を受け付けます。
ツアー終了後も「しまね就農支援サイト」で
オンライン相談を受け付けます。
2. アンケートメールの回答にご協力下さい。
(回答者には参加記念品をプレゼント)
3. ①就農相談ミニツアー(12/3~4)
②しまね農業体験プログラム(随時)
で現地にお越し下さい。

